

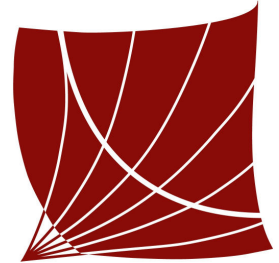
# はらはちぶ

医療法人 敬愛会

【発行日】 平成19年8月1日

第 86 号

## 増改築工事の竣工



夏本番になり太陽の日差しも厳しく、体調管理に気を遣う時期となりました。

平成17年11月より、既存棟の解体を始め約1年8ヵ月に及ぶ長い工期ではありましたが、ようやく本年7月をもって工事が竣工致しました。これもひとえに皆様のご協力のおかげと深謝致しております。

工事期間中は、患者様をはじめ近隣の皆さんには何かとご迷惑をお掛けしました。一部既存棟を使用しての工事のため、工事の進捗状況に合わせ、外来出入り口の変更や度重なる部屋・物品の移動など、今思えば大変な毎日でもありました。皆様におかれましては通路で迷ったり、出口がわからなくなったりと戸惑う事が多々あったことと思います。本当に申し訳ありませんでした。

新しい病院の建物では、高齢化社会に対応するため療養病床を増床し、患者様はじめご家族や利用していただく皆様の居住性に重点を置き工事を計画致しました。廊下幅を広く、食堂の設置、トイレなどについて配慮致しました。また、職員が仕事を行なううえで少しでも納得が行くように、各部署からの意見も広く取り入れ設計に生かしました。

また、工事を期にMRI装置を始め医療機器の入替えも行ないました。基本方針である“専門的で良質な医療の提供”が出来るように努める所存であります。

医療業界におきまして、21世紀はまさに激動の時代であります。超高齢化社会を迎え医療費の増大、医療の質の変化が社会問題となっております。東近江敬愛病院におきましては、施設は新しくなりましたが創立以来掲げて参りました経営理念の“敬天愛人”の精神を忘れることなく、患者様本位の心ある医療を提供することを心掛けて参ります。

工事の竣工を職員皆で喜び、また工事関係者の方々、期間中御迷惑をお掛けした皆様方には心からお礼とお詫びを申し上げます。

今後とも宜しく願い申し上げます。

東近江敬愛病院

院長 間嶋 孝

日本医療機能評価機構認定病院  
救急病院

東近江敬愛病院

電話 0748(22)2222

FAX 0748(22)2221

Http://www.keiaikai.or.jp/

### 目次:

増改築工事の竣工	1
物忘れ外来	2
整形外科外来のお知らせ	3
「オウムと私」を読んで	4
リハビリ室移転	5
編集後記	6



発行責任者：広報委員会

# 物忘れ外来

7月より、毎週水曜日 午前の脳外科外来において「物忘れ外来」を行なっております。  
物忘れには、年齢的なものと病気によるものがあります。病気による症状で一番多いのが**認知症**です。認知症にも色々な原因のものが考えられ、治療が可能なものもあります。

物忘れ外来では、必要に応じて

- ・ 面談
- ・ 心理学的検査 (MNS-R 等)
- ・ 画像検査 (MRI、CT 検査等)

などを行ないます。

《物忘れ外来》

**毎週 水曜日 AM 9:00 ~ 12:00**

**担当医 : 椎野 (脳外科)**

\* お問い合わせは外来受付までお願い致します。

# 整形外科外来のお知らせ

8月より、整形外科外来診療を下記のとおりに変更させていただきます。

	月	火	水	木	金	土
午前	新庄	新庄	本城	新庄	岡	休診
午後	休診	藤田	休診	藤田	休診	休診

・午前中の外来診療は土曜日を除き、月曜日から金曜日まで行ないます。

・午後の外来診療におきましては、火曜日・木曜日とさせていただきます。

ご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 「オウムと私」を読んで

長谷出 浩

1995年3月20日 信じられない事件が起こりました。

オウム真理教の信者によって東京の地下鉄にサリンがまかれました。

「地下鉄サリン事件」

オウム真理教による無差別テロ行為でした。サリンにより死亡者や重傷者を沢山出しました。

この事件を起こした実行犯の中に 林郁夫 がいました。彼は、開業医の家庭に生まれ何不自由なく育ち、慶応大学医学部を卒業し、心臓外科医としては有名で大変優秀な医者でありました。そんな彼が地位も名誉も捨てて麻原彰晃を教祖とする オウム真理教 に入信し、サリンまでもまいてしまう・・・。

この本は、林郁夫被告が獄中で書いた自叙伝です。

どうして！何故！こんな立派な人が、こんなことになってしまったのか？

私は、この事件以来 この疑問を抱いていました。この本の存在を知ったのは最近のことです。すぐに購入し読みました。

読んでいるうちに、何だか 益々分らなくなりました。ただ、人間の弱さを感じました。弱さがあるから宗教の教えに頼り、自分を守ろうとする。たまたま彼が信仰した教祖が麻原彰晃であり、当時 流行語にもなった“マインド コントロール”で、彼ほどの人までもが罪を犯してしまう。

「後悔 後を絶たず」「後悔 先に立たず」そんなことわざを立証しているような本です。

彼を弁護する気持ちは全くありませんが、麻原を信じ家族も捧げ、大真面目に修行をした林被告が空しく思えます。

〈本文より〉

私が信じて行なったことは、とり返しのつかない大きな過ちでした。自らを恥じ、自分が生きていることを恥じました。戻しようのないことはわかっているけど、何度、元へ戻せたら・・・と思ったことでしょうか。なんで、わからなかったのだ、と身悶えする思いが繰り返し湧き上がってきました。ひたすら殺してしまった人たちの心残りを思い、残された家族、縁ある人たちの悲しみを思い、その悲しみを思うたびに、涙がとめようもありませんでした。

～ 林郁夫：「オウムと私」より ～



# リハビリ室移転

増改築工事のため、しばらくの間3階に移転しておりました リハビリ室 の工事が終了しましたので、7月30日より1階の元の場所に戻しました。

以前に比べ内装も綺麗になり、何より広く感じます。当院では、PT(理学療法士)5人・OT(作業療法士)1人・事務員1人の体制でリハビリ室を運営しております。

東側玄関横がリハビリ室となります。



## 編 集 後 記

表紙の院長の挨拶にあるように、増改築工事がようやく竣工致しました。計画当初より関わってきた私にとっても大変嬉しいことです。今回の工事計画では設計業者をプロポーザル方式で選別し、入札により施行業者を決定、設計業者の管理のもと工事を行いました。50回を超える業者責任者との建築会議、各部署職員代表からの聞き取り、数回に及ぶ大規模な引越しなど、全てが初めてのことばかりでした。

仮設通路を設置したところ大雪になり、患者様が滑って転倒されないように職員総出でお湯をまいたり、一日がかりの解体棟から新棟への物の移動など、大変ではありましたが貴重な経験を職員皆が体験できたと思います。

病院名も昨年に改名し、新棟も完成し、新しい病院のシンボルマークも決まり、全てが一新しい東近江敬愛病院の新しい歴史がこれから始まります。

どうぞ宜しくお願い致します。

(文章:H)